

粕屋町政刷新

2017年3月発行 第13号

発行責任者

粕屋町議会議員

ふくながよしゆき
福永善之

粕屋町仲原二五二五―一五〇三

町民の皆さんへ、

町長や議員の仕事とは、「何」なん
でしょうか。

〇〇を無料にします、〇〇を造り
ます、何もせずにお金が入ってき
たり、自分の居住している近くに施
設が出来たり、とても聞えがいいバ
ラ色のような政策です。

しかし、何か忘れていませんか。

バラ色の政策には、“税金”という

お金が大量に必要です。

今の粕屋町議会は、税金のことは

議論の対象にならず、『町民の声』と

称して、あれもやれ・これもやれ、

の組織となっております。

肝心な支払いの議論は、いつも後

回しで、将来世代へのツケで対応す
る事案が多すぎるのです。

こんな組織が、粕屋町の未来を方
向付ける、粕屋町の意味決定の最高
機関なんです。

将来世代のあなたの子供や孫は、
このような組織に対し、一言も文句
も言わない・言えない立場であるの
です。

町長や議員を選んだのは、

あなたの責任です

自分の力ネだったら使わないのに、
不特定多数が納めた税金であるがゆ
えに、税金を自分の力ネのように浪

費するような町長や議員を選んでい
るのは、あなたです。

町長や議員は、

あなたに嫌われたくない

粕屋町の将来のためではなく、当
選することが目標になっている粕屋
町の選挙制度を作っているのは、あ
なたです。

あなたの1票がほしいあまり、あ
なたに嫌われることを全く言わな
い・言えない人たちがばかりが町長や
議員になったら……。

だから、私一人でも議会人として
戦わなければならないんです。



行政サービスは、“タダ”“無料”なのでしょうか？
いつから、日本人は、将来へのツケで行政サービ
スを受けるようになってきたのでしょうか？
そのツケは、あなたの子供や孫の世代に残されていきます。
だから私には、私の世代でそれを止める・変える責任が
あり、住民の意識改革を求めたい、と考えています。

福永の主義、主張

①【税金のバラマキは賛同しない】

②【自分のカネなら使わないのに、税金だったらジャブジャブ浪費する政策に賛同しない】

③【あれも・これも、の税金を使うことのみで、それらの財源を考えない【政治屋】には、ならない】

一地方議員として、 福永の優先課題

死を選択できる、尊厳死法（仮称）

の成立を国に働き掛けていくことだ。

医療技術の進歩や食生活の改善で、

人の平均寿命は80歳を超えた。

また、世の中の風潮は、高齢者に

『長生きして下さい』と一方的なの

に対し、一方では、自分の人生だか

ら好きなように生き、好きな時に死

ぬ、という考えが否定されがちだ。

死を助長するつもりはないが、あ

る程度の年齢に達した人には、『死ぬ

権利』を認めてやるべきだ、と思う。

粕屋町の議員として、 福永の優先課題

行政サービスを受ける人が基本的 にサービス料を払う、『受益者負担』

の考えを議会に浸透させていくこと
だ。

粕屋町議会の中では、多種多様な

『住民の福祉』を訴えられる議員さ

んが多々いらつしやる。

現在は、それらのサービスを必要

としない方が受益者と同じような税

負担を強いられる傾向がある。

問題は、福祉の名の下に制限のな

いサービスには多大なカネが必要で

あり、受益者でない人が払い続ける

制度は税負担の公平性の観点から良

くない、と思う。

議員活動4年間 を振り返りました

私は、平成25年4月に施行され

た粕屋町議会議員選挙では、

①いかなる組織・団体に頼らない

②選挙事務所は設置しない

③うるさい街宣車を持たない

④迷惑千万の電話作戦はしない

⑤公費負担の選挙葉書は使わない

⑥後援会組織を持たない

の6点を基本に立候補しました。

結果は、議会最年少で2期目の当

選、完全一人選挙を実行しました。

選挙費用は、13,580円。

議会では、資産家、組織・団体の

代弁者、地域の有力者、行政経験者、

など、が多数を占め、しがらみを持

たない私の発言を思わしく思わない

勢力が存在しました。

議員4年間を振り返ると、自分の

考えや自分の言葉を持てない人は、

町民の代表者になるべきではない、

と感じました。

最後に、私は、議員として、皆さ

んの税金から、4年間で約1,60

0万円の報酬を頂きました。